

報第21号

令和7年度神奈川県教育委員会表彰（神奈川県立学校の児童・生徒表彰）について

令和7年度神奈川県教育委員会表彰（神奈川県立学校の児童・生徒表彰）について、神奈川県教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第2項の規定により事務を臨時に代理し、別紙のとおり被表彰者を決定しましたので、同規則第2条第3項及び教育委員会の指示事項の1の（3）の規定に基づき報告します。

令和8年1月20日提出

神奈川県教育委員会

教育長 花 田 忠 雄

令和7年度神奈川県教育委員会表彰
神奈川県立学校の児童・生徒表彰 被表彰者一覧

表彰基準(1)新たな取り組みや困難な課題等に果敢にチャレンジしたもの (敬称略)

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
1	鶴見高等学校	個人	鈴木 初音	2	美術部の活動を通して作品制作に励み、第26回高校生国際美術展において入賞した。
2	鶴見高等学校	個人	毛利 智仁	2	学習と体操の両立に努め、全国高等学校総合体育大会体操部門において全国大会に出場した。
3	鶴見高等学校	個人	栗山 泰青	1	第79回国民スポーツ大会バスケットボール少年男子の部に神奈川県代表として出場した。
4	鶴見高等学校	個人	竹本 琥珀	1	学習と体操の両立に努め、全国高等学校総合体育大会体操部門において関東大会に出場した。
5	鶴見総合高等学校	個人	Buenaventura Journey Pineda	3	語学学習に励むとともに、3年間、校内の清掃活動に自主的に取り組んだ。
6	神奈川工業高等学校	個人	宇野 秀祐	3	ものづくりコンテスト旋盤作業部門において関東大会に出場した。
7	神奈川工業高等学校	個人	嘉陽 涼太	3	ハンドボール部の部長としてリーダーシップを発揮するとともに、3年間学業にも励んだ。
8	神奈川工業高等学校	個人	君島 龍澄	3	生徒会副会長として学校の運営に携わり、生徒が過ごしやすい学校づくりのために尽力した。
9	神奈川工業高等学校	個人	草野 真央	3	写真部で数々の賞を受賞し、第49回全国高等学校総合文化祭・香川大会に出場した。
10	神奈川工業高等学校	個人	首藤 美咲	3	数々の資格取得や受賞をしながら、サッカー部マネージャーとして部員たちを献身的に支えた。
11	神奈川工業高等学校	個人	杉山 泰賀	3	学業や部活動だけでなく、学校外ではトライアスロンに励み、全国大会など様々な大会に出場した。
12	神奈川工業高等学校	個人	戸村 莉夢	3	映画研究部の部長として活躍し、部員数を増やして独創的な作品を作った。
13	神奈川工業高等学校	個人	原 董	3	全国高等学校総合文化祭10年連続派遣に貢献し、撮影作品が美術館の図録に採用された。
14	神奈川工業高等学校	個人	細川 十道	3	3年間生徒会として学校の運営に携わり、生徒の過ごしやすい学校づくりのために尽力した。
15	神奈川工業高等学校	個人	今井 咲弥	2	ビジネス・プレゼンコンテストで複数の受賞をした。慈善活動では指導運営に関する実務を行った。
16	神奈川工業高等学校	個人	浦田 勝史	2	学級委員長としてクラスをまとめ、部活動で培った広報力で県とコラボした。
17	神奈川工業高等学校	個人	大竹 寿己矢	2	データサイエンスに関する資格を取得した上、マーケティングの研究を行い大学で発表した。
18	神奈川工業高等学校	個人	大村 哲平	2	ソフトテニス部副部長を務めながら、多数の資格取得や慈善活動の参加により文武両道を実践した。
19	神奈川工業高等学校	個人	近藤 優陽	2	慈善団体代表として統率力を発揮し、自ら企画を立案し山口県の高校とコラボ商品を開発した。
20	神奈川工業高等学校	個人	谷口 朔太郎	2	中央職業能力開発協会主催による、若年者ものづくり競技大会旋盤職種の全国大会に出場した。
21	神奈川工業高等学校	個人	難波 優超	2	計算技術検定1級に1回の受験で合格した。日々学習に励んだ。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
22	神奈川工業高等学校	個人	早川 遥人	2	2年間生徒会として学校の運営に携わり、生徒が過ごしやすい学校づくりのために尽力した。
23	神奈川工業高等学校	個人	ブランデンバーグ 瑠城	2	努力を積み重ね、第62回全神奈川高等学校英語弁論大会の本選に出場した。
24	神奈川工業高等学校	個人	吉澤 ジョエル志瑛	2	難関資格を複数取得し、他の生徒の資格取得の意欲を向上させるきっかけをつくった。
25	神奈川工業高等学校	団体	梅原 瑛拓 那須 禅音 難波 優超 東 瑛人	—	英語版学校パンフレットの完成やフェアトレード商品の開発等により国際教育を実践した。
26	神奈川工業高等学校	団体	園芸部 チーム喜代枝組	—	スポGOMI甲子園神奈川県大会に出場し、作製したグッズがオリジナルアイテム賞を受賞した。
27	神奈川工業高等学校	団体	機械科	—	プレス・板金・フォーミング展の出展企業取材した記事が日刊工業新聞に掲載された。
28	神奈川工業高等学校	団体	機械科課題研究班	—	校外の発表会で課題研究の成果を効果的に発表し、工業高校生徒への期待と可能性を印象付けた。
29	神奈川工業高等学校	団体	機械科2年1組有志	—	学んだ専門知識を活用してエンジンの載せ替え等工夫をこらし、オリジナルゴーカートを制作した。
30	神奈川工業高等学校	団体	Summer Intensive English Members	—	休暇中に英語学習に取り組み第17回IIBC高校生英語エッセイコンテストで奨励賞を受賞した。
31	神奈川工業高等学校	団体	ロボティクス部	—	「愛知県高校生ロボットSIリーグ」に出場し、制御技術と機構設計において高い完成度を示した。
32	神奈川工業高等学校	個人	小野寺 司	4	書道部がない中で自らの作品を完成させ、定時制通信制生徒作品展に出展を達成した。
33	神奈川工業高等学校	個人	齊木 仁	4	数学に強い興味関心を持ち、夏季休業中も毎日登校して発展的な学習に取り組んだ。
34	神奈川工業高等学校	個人	澤田 和幸	4	陶芸部に所属し、限られた時間の中で作品の完成度を高め、定時制通信制生徒作品展に出展した。
35	神奈川工業高等学校	個人	杉原 正義	4	伝統和楽器である箏の稽古を部活動で行い、連日稽古に励み、伝統文化継承に貢献した。
36	神奈川工業高等学校	個人	鈴木 巧	4	高校在学中の資格取得の中で難易度の高い「大型特殊自動車第一種免許（限定なし）」を取得した。
37	神奈川工業高等学校	個人	関口 陸	4	図書委員長として始業前に登校して委員の仕事に率先して取り組むなど、他の委員の模範となった。
38	神奈川工業高等学校	個人	高岩 理孔	4	放課後等の限られた時間に自主的に学習に取り組み、第一種電気工事士試験に合格した。
39	神奈川工業高等学校	個人	田島 平蔵	4	第75回神奈川県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会で本校代表として発表した。
40	神奈川工業高等学校	個人	甲斐 道也	3	定時制生徒会長、体育行事实行委員長、日刊工業新聞の学生記者等を務め随所で学校を盛り上げた。
41	神奈川工業高等学校	個人	三好 真	3	定時制生徒として第43回全国高校生建築製図コンクールに出品し、奨励賞を受賞した。
42	神奈川工業高等学校	個人	佐藤 美羽	2	定時制生徒として第43回全国高校生建築製図コンクールに出品し、銅賞を受賞した。
43	神奈川総合高等学校	個人	舩水 零	2	野球同好会を立ち上げ、限られた環境の中、練習に創意工夫を凝らした。
44	城郷高等学校	個人	兼常 瑛大	2	1年次から部長に就任し、高校生から剣道を始める部員が多いなかで、剣道部の活性化に尽力した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
45	城郷高等学校	団体	弓道部	—	5年（5期）連続で県外上位大会出場を果たし、今年も4大会連続で入賞を継続している。
46	横浜平沼高等学校	個人	北村 晃希	3	陸上競技部に所属し、県大会、関東大会に出場するなど成果を上げた。
47	横浜平沼高等学校	個人	古川 翔琉	3	創立125周年記念事業に係る一連の行事運営する生徒実行委員会を牽引した。
48	横浜平沼高等学校	個人	森本 愛梨	3	全日本空手道選手権大会上位入賞等の成果を上げ、学業に励み文武両道を実現した。
49	横浜平沼高等学校	個人	佐川 蒼太	2	創立125周年記念事業の一つであるプレイベント運営にウクレレ演奏で貢献した。
50	横浜平沼高等学校	団体	オーケストラ部	—	創立125周年記念事業において参加者の心に強く残る演奏で式典に貢献した。
51	横浜平沼高等学校	団体	合唱部	—	創立125周年記念事業において校歌等の演奏で貢献した。
52	横浜平沼高等学校	団体	かるた部	—	神奈川県かるた大会に上位入賞する等、日々成果を上げた。
53	横浜平沼高等学校	団体	弓道部	—	県内大会上位入賞、全国高校総体弓道大会、紫灘旗全国高校遠的弓道大会に出場し成果を上げた。
54	横浜平沼高等学校	団体	軽音楽部	—	創立125周年記念事業において個性豊かな演奏を披露し、雰囲気づくりに貢献した。
55	横浜平沼高等学校	団体	吹奏楽部	—	東関東吹奏楽コンクールに出場という成果を出しただけでなく記念式典での演奏で貢献した。
56	横浜平沼高等学校	団体	ダンス部	—	創立125周年記念事業において迫力あるパフォーマンスで、貢献した。
57	横浜平沼高等学校	団体	ハンドボール部	—	日々厳しい練習に取り組み、関東高等学校ハンドボール大会に出場するなど成果を上げた。
58	横浜平沼高等学校	団体	125周年記念事業生徒実行委員会	—	創立125周年記念事業に係る一連の行事運営に貢献した。
59	横浜立野高等学校	団体	生徒会	—	文化祭における各イベントの混雑状況等を表示することで、来場者への円滑な案内を行った。
60	商工高等学校	個人	北原 聖夏	3	海洋環境問題に関するボランティア活動を積極的・継続的に行い、研究機関と調査・研究を行った。
61	商工高等学校	個人	高鷹 息吹	3	地域の方に環境問題に関心を持ってもらうためスポGOMI大会や講習会の開催に協力した。
62	商工高等学校	個人	佐藤 瑠久	3	環境問題に関心を持ち、企業・地域と協力し、スポGOMI大会や講習会のサポートを行った。
63	商工高等学校	個人	五山 羽麗	2	技術研究部部員として各種コンテストで入賞した。また積極的に地域貢献を行った。
64	商工高等学校	個人	平田 梁	2	技術研究部で部長を支え各種コンテストで入賞した。また積極的に地域貢献を行った。
65	商工高等学校	団体	総合ビジネス科3学年流通系（商品開発と流通）	—	ホテルの新メニュー開発を行い6品が採用されたほか、PR活動にも取り組み魅力発信に貢献した。
66	二俣川高等学校	個人	許 静娜	3	県英語スピーチコンテストや高校生交流派遣事業に意欲的に参加した。
67	二俣川高等学校	個人	斉藤 シンディ 愛	3	茶道部部長を務めつつ学業に励み、関東甲信地区高等学校英語スピーチコンテストに出場した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
68	二俣川高等学校	団体	笠原 由奈 佐々木 羽菜 仲岡 莉央	—	神奈川県高校生福祉研究発表会「研究発表部門」最優秀賞を受賞し関東大会に出場した。
69	二俣川高等学校	団体	神田 玲良 西村 陽菜 榊原 ほのか	—	神奈川県高校生福祉研究発表会「介護技術部門」に出場し、優秀賞を受賞した。
70	二俣川高等学校	団体	第64代生徒会総務役員	—	令和7年度学科改編の新しい学校づくりで、生徒の意見を聞き実現に向け力を発揮した。
71	旭高等学校	個人	菅原 大雅	3	陸上競技部の活動に熱心に取り組み、朝練習も計画的に行うことで自らの競技力向上につなげた。
72	横浜旭陵高等学校	団体	家庭部	—	部の人数が少なくなる中、文化祭で自らの企画でケーキを制作、デザインした包装により販売した。
73	横浜旭陵高等学校	団体	軽音楽部	—	部の人数が少なくなる中、練習方法等を工夫し、文化祭及び後夜祭において演技発表を成功させた。
74	横浜旭陵高等学校	団体	硬式野球部	—	部の人数が少なくなる中、工夫しながら技術を磨き秋季は予選を突破、県大会に出場を果たした。
75	横浜旭陵高等学校	団体	サッカー部	—	部の人数が少なくなる中、他校との合同チームを組むなど工夫しながら技術を磨いた。
76	横浜旭陵高等学校	団体	茶道部	—	部の人数が少なくなる中、文化祭で装飾展示をし、来場者にお茶を振る舞い茶会を成功させた。
77	横浜旭陵高等学校	団体	吹奏楽部	—	部の人数が少なくなる中、他校と合同する等工夫を重ね、両校の文化祭での演奏を成功させた。
78	横浜旭陵高等学校	団体	生徒会本部	—	自らの発案で、コミュニケーションのあり方を見直す活動を実施した。
79	横浜旭陵高等学校	団体	ダンス部	—	部の人数が少なくなる中、練習方法等を工夫し、文化祭及び後夜祭で演技発表を成功させた。
80	横浜旭陵高等学校	団体	バドミントン部	—	部の人数が少なくなる中、工夫しながら練習し、県大会に出場するなど優秀な成績を収めた。
81	横浜旭陵高等学校	団体	陸上競技部	—	部の人数が少なくなる中、工夫しながら練習し、県大会に出場するなど優秀な成績を収めた。
82	磯子工業高等学校	個人	田中 大也	3	建築研究部の一員として、日々、木材加工の技術を磨き、大会において優勝した。
83	磯子工業高等学校	団体	技術研究部・課題研究チーム	—	技術研究部・課題研究を通して、機械加工の技術を磨き、コマ大戦において県優勝した。
84	横浜氷取沢高等学校	個人	小山田 美桜	3	図書委員として図書普及の活動に取り組み、全国POPフェスタ2025で優秀賞を獲得した。
85	横浜氷取沢高等学校	個人	瀬瀬 咲楽	3	当該校の国際交流事業の受け入れ・訪問に中心的な役割を果たしグローバル教育の推進に貢献した。
86	横浜氷取沢高等学校	個人	新宮 大翔	2	横浜南地区交通安全ポスターコンクールで優秀賞を受賞し、ポスター原画として採用された。
87	港北高等学校	個人	上久保 百彩	3	文化祭実行委員長として、文化祭の成功に向けて積極的に取り組んだ。
88	港北高等学校	個人	潮崎 るり	3	書道部に所属し、第49回全国高等学校総合文化祭に出品した。
89	港北高等学校	個人	谷内 友莉花	3	生徒会長として学校行事の成功に向けて積極的に取り組み、制服規定の変更に向けて尽力した。
90	港北高等学校	個人	西川 遥稀	3	体育祭実行委員長として、体育祭の成功に向けて積極的に取り組んだ。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
91	港北高等学校	個人	飛田 真優	3	放送部に所属し、第49回全国高等学校総合文化祭に出場した。
92	港北高等学校	団体	軽音楽部	—	全国高等学校軽音楽部対抗バンドバトル2024に出場した。
93	港北高等学校	団体	吹奏楽部	—	第26回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜に出場した。
94	岸根高等学校	個人	片岡 基	2	北方領土をテーマに自ら研究を進め、北方領土の正しい認識の形成に努めた。
95	岸根高等学校	団体	体育祭実行委員会	—	自校の体育祭の運営だけでなく、分教室の生徒を数多くの種目への参加を募り、表彰等を行った。
96	岸根高等学校	団体	横浜信用金庫六角橋支店ポスター制作チーム	—	授業の一環で連携した企業から依頼されたポスターを制作し、企業のイメージアップに貢献した。
97	白山高等学校	個人	中島 優	2	生徒会副会長として体育祭や文化祭の企画・運営に意欲的に取り組んだ。
98	白山高等学校	団体	池田 好美 ハンナ フェリシティ オボン マジナル 李 秀	—	手話の普及のために、全校生徒に対して啓発動画を作成した。
99	白山高等学校	団体	生徒会	—	体育祭や文化祭などの学校行事を生徒主体で企画・運営し、学校の広報活動に貢献した。
100	市ヶ尾高等学校	団体	軽音楽部 AM4:25	—	全国高校生アマチュアバンド選手権決勝大会にて優勝し、文部科学大臣賞を受賞した。
101	市ヶ尾高等学校	団体	軽音楽部 404	—	第12回全国高等学校軽音楽コンテストにて奨励賞を受賞し、2年連続で奨励賞を受賞した。
102	田奈高等学校	個人	工藤 彩乃	3	生徒会長として、選挙公約を実現し生徒のより良い学校生活に貢献した。
103	田奈高等学校	団体	SEO JUNWON 荒明 祐人 佐藤 龍輝	—	第46回体育祭で各団長（赤、青、黄）として、団員の士気を高めるとともにその成功に貢献した。
104	川和高等学校	個人	新保 ら夢	3	弓道部の活動に懸命に励み、弓道大会において優秀な成績を収めた。
105	川和高等学校	個人	勝俣 那月	2	弓道部の活動に励み、弓道大会において優秀な成績を収めた。
106	荏田高等学校	個人	對馬 マリアム	3	女子100m、200mで優勝し、関東高等学校陸上競技大会南関東予選、高校総体に出場した。
107	荏田高等学校	個人	宮内 日菜	3	女子幅跳びで優勝、関東高等学校陸上競技大会南関東予選に出場し、高校総体にも出場した。
108	荏田高等学校	個人	望月 萌叶	3	IFSCクライミングユースアジア選手権貴陽2025で上位の成績を収めた。
109	荏田高等学校	個人	荒金 建伍	2	関東高等学校水泳大会に出場し、高校総体進出も果たした。
110	荏田高等学校	個人	須長 穂乃果	2	サッカーU17日本代表としてFIFA女子ワールドカップモロッコ2025大会に出場した。
111	荏田高等学校	個人	富岡 優衣	2	第56回神奈川県高等学校書道コンクールで「日本書写技能検定協会賞」を受賞した。
112	荏田高等学校	個人	阿波峰 芽衣菜	1	関東高等学校水泳大会本戦に出場し、学校全体の部活動の活性化に貢献した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
113	荏田高等学校	個人	勝木 里桜	1	学校内外の活動を両立させ、社交ダンスの様々な全国大会で好成績を収めた。
114	荏田高等学校	個人	小林 美咲	1	学校内外の活動を両立させ、空手道の様々な全国大会で好成績を収めた。
115	荏田高等学校	個人	笹倉 拓真	1	サッカーU15、U16日本代表として国際大会に出場、国民スポーツ大会県代表として活躍した。
116	荏田高等学校	団体	剣道部 男子団体メンバー	—	関東高等学校剣道大会に県立高校として唯一出場した。
117	荏田高等学校	団体	陸上競技部 女子 4×100mリレー、4×400mリレーメンバー	—	関東高等学校陸上競技大会南関東地区予選会に出場、4×100mリレーは高校総体にも出場した。
118	新栄高等学校	個人	加藤 漣	3	日本スノーボード協会（JSBA）主催大会で上位入賞し、プロ登録資格を獲得した。
119	新栄高等学校	個人	岩間 伊織	1	中学時からカメムシの生態の研究を継続し、日本学生科学賞神奈川県作品展特別賞を受賞した。
120	新栄高等学校	団体	演劇部	—	横浜市高校演劇発表会において、大会審査員特別賞を受賞した。
121	舞岡高等学校	団体	池田 海龍 蛭田 香春	—	地域の飲食店と連携し、共同で新メニューの企画・開発を行った。
122	横浜桜陽高等学校	個人	石川 玲鷗	3	バトミントン部部長として20人近い部員を男女関係なく統率し、部活を円滑に運営した。
123	横浜桜陽高等学校	個人	坂本 圭駿	3	生徒会長として文化祭で新たに前夜祭を企画・運営した。
124	横浜桜陽高等学校	個人	田原 佐亮	3	応援団長として、70名を超える生徒をまとめ、野球応援を成功させた。
125	横浜桜陽高等学校	個人	丹下 穂香	3	弓道部に所属し、関東個人選手権大会に出場した。
126	横浜桜陽高等学校	個人	目黒 礼武	3	剣道部の唯一の部員として、他校と連携を取り部活動に取り組んだ。
127	横浜桜陽高等学校	個人	下島 晟琉	2	校舎内のゴミ拾いを積極的に行った。
128	横浜桜陽高等学校	団体	生徒会本部役員有志	—	かながわ青少年みらいフォーラムに参加し、他校の生徒と意見交換を行なった。
129	横浜桜陽高等学校	団体	放送部	—	様々な学校行事において、放送業務を担い円滑な運営に尽力した。
130	柏陽高等学校	個人	秋本 結美乃	3	体育祭実行委員長として、生徒の主体的な行事運営を統率した。
131	柏陽高等学校	個人	鈴木 海斗	3	令和7年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会男子800mに出場した。
132	柏陽高等学校	個人	湯本 千裕	3	神奈川県友好交流地域高校生派遣事業の教育特使として派遣され、現地での体験を校内で発表した。
133	横浜修悠館高等学校	個人	岩切 一馬	3	車いすテニス選手として国内の大会に積極的に参加し、世界ジュニアランキングで40位となった。
134	横浜修悠館高等学校	個人	兼田 涼介	3	車いすテニス選手として国内外で好成績を収め、世界ジュニアランキングで16位となった。
135	横浜修悠館高等学校	個人	高橋 コ メラニーペソン	3	第75回神奈川県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会において最優秀賞を受賞した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
136	横浜修悠館高等学校	個人	島田 和	2	関東地区高等学校通信制教育研究会生活体験発表会において優秀賞を受賞した。
137	横浜修悠館高等学校	団体	空間デザインプロジェクト	—	生徒主体で「本校生徒が過ごしやすい空間」を探究し、校内居場所カフェを立ち上げた。
138	横浜瀬谷高等学校	団体	文化祭スタッフ	—	文化祭でテーマカラーを導入し目的意識や統一感を持たせるなど、文化祭を自主的に運営した。
139	川崎工科高等学校	個人	滝澤 美遥	3	バレーボール部マネージャーとして、献身的に選手をサポートし、公式戦での勝利に繋がった。
140	向の岡工業高等学校	団体	ロボット研究部	—	ものづくりコンテストで県大会2年連続優勝、関東大会3年連続出場、ロボフェスタへ出展もした。
141	生田高等学校	個人	田中 優成	2	写真部と交通研究部で活動し、高写連写真コンテストや県高総文祭で入賞した。
142	生田高等学校	個人	長谷川 貴穂	2	ワンダーフォーゲル部部长、生徒会長、文化祭実行委員長を両立した。
143	生田高等学校	個人	浜田 和寛	2	写真部と交通研究部で活動し、県高総文祭入賞、関東地区高等学校写真展優秀賞を受賞した。
144	生田高等学校	団体	科学部	—	グローブ科学論文シンポジウムに提出したレポートが評価され、アラスカ大学で発表を行った。
145	横須賀高等学校	個人	大澤 悠翔	3	実施時期が変更となった初めての体育祭の実行委員長として、主体的に企画運営を行った。
146	横須賀高等学校	個人	円福寺 乃埜	2	新しく刷新した学校案内に現役生として登場し、広報活動に積極的に従事した。
147	横須賀高等学校	個人	林 勇樹	2	公私合同説明会においてデジタルサイネージを作成するなどの新しい発想と取組を実践した。
148	横須賀工業高等学校	個人	橋井 萌香	2	令和7年度ものづくりコンテスト化学分析部門にて、6位に入賞した。
149	津久井浜高等学校	団体	生徒会執行部	—	本校50周年記念事業の一環としてドローン撮影による人文字の企画・運営・計画・実施をした。
150	横須賀南高等学校	個人	牧瀬 華林	2	令和7年度牛乳・乳製品利用料理コンクールにおいて、最優秀賞を受賞し関東大会出場も決定した。
151	平塚江南高等学校	団体	放送委員会STEAM班	—	日経STEAMシンポジウムに出場し、「DIS STEAMゼミ」優秀賞を受賞した。
152	平塚農商高等学校	個人	上殿 綱木	2	ビジネス計算競技大会（電卓）において団体準優勝、個人としても優秀な成績を収めた。
153	平塚農商高等学校	個人	シスパン アキナ	2	全商英語スピーチコンテスト（スピーチの部）において優秀な成績を収めた。
154	平塚農商高等学校	個人	嶋野 美優	2	全商ビジネス計算競技大会（電卓）において団体準優勝、珠算で個人としても優秀な成績を収めた。
155	平塚農商高等学校	個人	板東 小春	2	全商ワープロ競技大会において優勝、ビジネス計算競技大会においても優秀な成績を収めた。
156	平塚農商高等学校	団体	総合ビジネス科 Marketing Lab	—	原材料価格を示したカフェメニューの研究を行い生徒商業研究発表大会において最優秀賞を受賞した
157	平塚湘風高等学校	個人	大城 エリック カズヤ サンチェンズ	2	令和7年度全日本高等学校パワーリフティング選手権大会（59kg級）に出場した。
158	平塚湘風高等学校	個人	神崎 柊斗	2	令和7年度全日本高等学校パワーリフティング選手権大会（59kg級）に出場し、3位入賞した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
159	平塚湘風高等学校	個人	ヒガ キラン 理亜夢	2	令和7年度全日本高等学校パワーリフティング選手権大会（66kg級）に出場した。
160	平塚湘風高等学校	団体	生徒会本部役員会	—	かながわハイスクール議会に当該校生徒として初めて参加する等、新たな活動に取り組んだ。
161	七里ガ浜高等学校	個人	宮澤 慶大	3	陸上競技部で、投てき種目におけるサーキットドリルを構築し、投てき練習を活性化させた。
162	大船高等学校	個人	嘉手川 湮帆	3	クラブチームでのセーリングの取組と学校内の活動を両立し、国際420級世界選手権に出場した。
163	大船高等学校	団体	生徒会執行部	—	鎌倉市内の公立高校による連携組織「五校連携」を再始動させ、生徒会同士の意見交換を行った。
164	大船高等学校	団体	保健委員会「菜の花プロジェクト」	—	令和6年度学校保健生徒研修会をきっかけに、当該校でも菜の花プロジェクトを立ち上げ、継承した。
165	藤沢工科高等学校	個人	神山 大和	3	ボランティア部・家庭クラブとして、地域市民団体に所属し、本校の地域活動を発展させた。
166	小田原高等学校	団体	科学部	—	全国高総文祭自然科学部門で最優秀賞を受賞し、SSHとして大きな成果となった。
167	小田原高等学校	団体	理数探究3年次B09班	—	2年次までの課題研究に継続して取り組み、SSH生徒研究発表会で、成果を全国へ発信した。
168	小田原高等学校	個人	露木 千菜	3	生徒数が少ない中で、生徒会本部役員として、他の生徒と協力して、学校行事を盛り上げた。
169	小田原城北工業高等学校	個人	呉地 拓斗	3	第2種電気工事士に合格した。
170	小田原城北工業高等学校	個人	金井 愛梨	2	第二級陸上特殊無線技士に合格した。
171	小田原城北工業高等学校	個人	栢沼 奏羽	2	第二級陸上特殊無線技士及び第四級アマチュア無線技士に合格した。
172	茅ヶ崎高等学校	個人	山本 真耶	3	平安時代の高度な古筆技法で書表現を極め、県コンクールにおいて知事賞を受賞した。
173	茅ヶ崎北陵高等学校	個人	富田 穂歌	2	全国レベルの美術展で多数受賞を果たし、学業と美術部での活動を両立させた。
174	茅ヶ崎北陵高等学校	団体	吹奏楽部	—	海外の学校の吹奏楽部と合同練習・演奏会を開催するなど他の部の模範となる新たな取組みをした。
175	茅ヶ崎北陵高等学校	団体	北陵祭実行委員会	—	これまでの課題を新たな取組により克服し、生徒主体の文化祭を実現し、成功へ導いた。
176	鶴嶺高等学校	個人	川上 聡子	3	生徒会長として、生徒全体をまとめ、行事運営において生徒の意見を代表して活動を行った。
177	鶴嶺高等学校	個人	渡邊 文乃	3	バレーボール部で関東大会、国民大会出場、個人ではビーチバレーボール海外遠征を果たした。
178	茅ヶ崎西浜高等学校	個人	森田 愛莉	2	生徒会会長として、地域貢献や生徒会活動の活性化のため先頭に立ち困難な課題に取り組んだ。
179	逗子葉山高等学校	個人	早瀬 敢汰	3	学業と両立させながら、空道という格闘技の世界大会で4位に入賞した。
180	逗子葉山高等学校	個人	古川 薫子	3	生徒会長として生徒の活動等を積極的にインスタグラムなどで発信し、生徒会活動活性化に貢献した。
181	逗子葉山高等学校	個人	岡澤 蹴太	2	テコンドーONE世界大会にて、組手で準優勝、型で第3位に入賞した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
182	相原高等学校	個人	川野 琳央	3	難易度の高い2級造園技能士試験に熱心に取り組み合格した。
183	相原高等学校	個人	栗田 　　ここ	3	難易度の高い2級造園技能士試験に熱心に取り組み合格した。
184	相原高等学校	個人	細野 陽介	3	難易度の高い2級造園技能士試験に熱心に取り組み合格した。
185	相原高等学校	個人	松本 結愛	3	難易度の高い2級造園技能士試験に熱心に取り組み合格した。
186	相模原高等学校	団体	カーボン・ナノチューブ・グラフェン研究チーム	—	青山学院大学で研究活動を行い、東京都立大学における発表会や台湾で行われた学会で発表をした。
187	上溝南高等学校	個人	吉村 康生	3	令和7年度第20回全国高校生男子ボディビル選手権大会170cm超級第3位に入賞した。
188	相模原弥栄高等学校	団体	音楽科3年次有志	—	音楽科生徒有志が校内での演奏会を企画し、生徒、教員、保護者に発表をした。
189	三浦初声高等学校	個人	高梨 惺朱	3	農業クラブ県大会意見発表など各種大会で研究成果を発表し、多くの関係者から共感を得た。
190	三浦初声高等学校	個人	高橋 旺雅	3	硬式野球部において、他校との合同チームを結成しチームをまとめた。
191	三浦初声高等学校	個人	高橋 叶翔	3	フラワーアレンジメントの技術向上に努め、県大会で最優秀賞を獲得し、全国大会に出場した。
192	三浦初声高等学校	個人	三島 玲	3	牛乳料理コンテスト県大会で研究成果を示し、牛乳の普及に貢献した。
193	三浦初声高等学校	個人	芳山 心香	3	農業クラブ全国大会農業鑑定競技会に出場するとともに、農業クラブ県大会で意見発表を行った。
194	三浦初声高等学校	個人	鈴木 晴捺	2	農業クラブ県大会意見発表など各種大会で研究成果を発表し、多くの関係者から共感を得た。
195	三浦初声高等学校	団体	木下 春花 金子 桃子 臼井 桔平 早川 優志	—	校内に設置された期日前投票所において、投票立会人などの係を担い、県内初の試みに貢献した。
196	三浦初声高等学校	団体	生徒会	—	全校生徒が取り組める新企画（クラス対抗クイズ王決定戦）を実施した。
197	三浦初声高等学校	団体	農業クラブ	—	農業に係るイベント運営に取り組み、専門学科の理解促進を県民や中学生に図った。
198	秦野高等学校	個人	前 徹	3	第24回全国障害者スポーツ大会に陸上競技の神奈川県代表選手として出場することになった。
199	秦野高等学校	個人	山本 真大	3	学校の創立100周年記念式典に向けて、記念スローガンを作成した。
200	秦野高等学校	個人	久保寺 優月	2	創立100周年（草創140年）記念マスコットキャラクターのデザインを作成し採用された。
201	厚木王子高等学校	個人	丸田 紬月	3	全国高等学校簿記競技県大会個人の部で準優勝、全国大会に出場し、他の大会でも活躍した。
202	厚木王子高等学校	個人	太田 徠斗	2	IBK0第18回全関東空手道選手権大会アンダー18男子62kg未満優勝等、多数で活躍した。
203	厚木王子高等学校	団体	弓道部	—	関東高等学校弓道大会団体3位・技能優秀賞受賞、国民スポーツ大会神奈川県代表として出場した。
204	厚木王子高等学校	団体	珠算電卓部	—	全国高校ビジネス計算競技県大会珠算の部と電卓の部の団体の部で優勝し全国大会に出場した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
205	厚木王子高等学校	団体	ソフトボール部	—	令和7年度全国総合体育大会ソフトボール競技大会、関東高等学校ソフトボール大会で優勝した。
206	厚木清南高等学校	個人	澤田 一加	2	未経験であったが熱心に練習に取り組み、県大会3,000m障害第4位入賞などの実績を挙げた。
207	厚木清南高等学校	個人	江成 永太	1	卓球部唯一の部員として、創部以来初の関東大会県予選に出場した。
208	厚木清南高等学校	団体	書道部	—	部員同士高め合い、各種書道展やコンクールでの受賞など、揮毫技術の研鑽に取り組んだ。
209	厚木清南高等学校	団体	全日制生徒会	—	早朝のあいさつ活動や学校説明会での広報活動、また知事との「対話の広場」へ参加した。
210	厚木清南高等学校	個人	三枝 心月	3	県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会の校内選考会で3年連続クラス代表として参加した。
211	厚木清南高等学校	個人	平野 彩咲愛	3	県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会で学校代表として県大会に出場した。
212	厚木清南高等学校	個人	丹野 怜奈	2	県央県北地区高等学校定時制通信制生徒芸術作品展のポスターに採用され作品展開催へ貢献した。
213	厚木清南高等学校	個人	豊田 悠翔	2	「第10回筆文字で伝えたいことば大賞」学生の部において「あかしや賞」を受賞した。
214	厚木清南高等学校	団体	定時制生徒会	—	生徒会本部役員として、定時制の学校生活向上に向けて努力した。
215	厚木清南高等学校	団体	軟式野球部	—	夜間定時制の限られた時間で選手2名により他校との合同チームなどで熱心な活動を行った。
216	厚木清南高等学校	団体	陸上競技部	—	夜間定時制の限られた時間で選手・マネージャーが協力し全国大会で準優勝の実績を収めた。
217	厚木清南高等学校	個人	山岸 郁美	4	神奈川県高等学校定時制通信制生徒作品展において服飾作品を出展し最優秀賞を受賞した。
218	大和東高等学校	個人	網代 羅夢	3	1年時にボウリング同好会を立ち上げ3年間活動するとともに各種大会で優秀な成績を収めた
219	大和東高等学校	個人	小山内 美帆	3	3年間書道部にて各種大会での受賞やその取組と、学校内の活動を両立した。
220	大和東高等学校	個人	濱崎 姫琉	3	1年時にボウリング同好会を立ち上げ3年間活動するとともに各種大会で優秀な成績を収めた。
221	伊勢原高等学校	個人	藤原 大貴	3	男子ソフトボール部に競技未経験で入部し、地道に努力を重ね、国体の神奈川県代表に選出された。
222	伊勢原高等学校	個人	柿原 リカ	2	入賞には至らなかったが、日々こつこつと制作活動をして、細かな描写の作品を仕上げた。
223	伊勢原高等学校	団体	吹奏楽部	—	人数が12名と少ない中で、第26回西湘吹奏楽コンクールにおいて、銀賞を受賞した。
224	伊勢原高等学校	個人	長谷川 夏音	3	学年をこえた生徒の交流を目指し、あいさつ運動や定時制のみの後夜祭の運営を行った。
225	伊勢原高等学校	個人	カトリ パワン	2	第57回北相地区定通高等学校球技大会バトミントンの部で準優勝した。
226	有馬高等学校	団体	津波サミット2025チーム	—	津波サミット2025において、海外の高校生と防災について英語で議論し成果物を作成した。
227	有馬高等学校	団体	ネパール探究チーム	—	ネパールを実際に訪問して現地の教育・衛生課題について協議し、フィールドワークを実践した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
228	座間総合高等学校	個人	イムティヤース シャーマ	3	生徒会長として学校全体をまとめ、ハイスクール議会に参加するなど積極的に活動した。
229	座間総合高等学校	個人	吉田 里緒	3	第26回高校生国際美術展で奨励賞を受賞するなど、デザイン技術の研鑽に取り組んだ。
230	座間総合高等学校	団体	写真部	—	プレゼン等の工夫を凝らし第32回全国高等学校写真選手権2025に出場し、奨励賞を獲得した。
231	綾瀬高等学校	個人	石田 愛奈	3	弓道部に所属し、全国高等学校総合体育大会弓道競技大会女子個人の部へ出場した。
232	綾瀬高等学校	個人	馬場 莉碧	2	陸上競技部に所属し、関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会女子走り幅跳びへ出場した。
233	綾瀬高等学校	団体	ダンス部	—	大会参加に加え、学校行事や地域自治体の催し等に積極的に参加し、ダンスの普及に努めた。
234	綾瀬西高等学校	個人	飯牟礼 想士	3	サッカー部に所属し、怪我で活動ができない中でも、練習等のサポートでチームに大きく貢献した。
235	綾瀬西高等学校	個人	小林 未来	3	未経験で野球部に入部したが、三塁コーチャーとしてチームに貢献し、仲間を鼓舞してきた。
236	平塚中等教育学校	個人	中田 賢太	6	学校外でのフィンスイミングの取組と学校内の活動を両立し、学業にも励んだ。
237	平塚中等教育学校	個人	杉山 紅嶺	5	学校外でのフィンスイミングの取組と学校内の活動を両立し、学業にも励んだ。
238	鶴見支援学校	団体	岸根分教室 生徒一同	—	岸根高校生徒と様々なイベントを創りあげるとともに、岸根高校の環境整備を積極的に行った。
239	鶴見支援学校	団体	高等部球技同好会	—	同好会の練習や夏季及び冬季ブロック大会に出場する等、学校生活と両立した。

表彰基準(2)地域・社会等に貢献をしたもの

(敬称略)

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
1	鶴見高等学校	団体	生徒会役員	—	地域貢献デーに、生徒の交通マナー向上や地域の安全に貢献した。学校説明会で広報活動を行った。
2	鶴見高等学校	団体	図書委員会	—	近隣の小学校や高齢者施設等で読み聞かせの活動を行った。
3	神奈川工業高等学校	個人	佐瀬 彪太	2	慈善活動のアクセシビリティ企画を担当し障がい者eスポーツ団体等とともに研究をまとめた。
4	神奈川工業高等学校	個人	菅原 航晃	2	障がい福祉サービス事業所の体験型ワークショップを企画運営し、商品販売や啓発活動に貢献した。
5	神奈川工業高等学校	個人	鈴木 亮潤	2	慈善団体電気技術チームのリーダーとして、障がい福祉サービス事業所の啓発活動等に貢献した。
6	神奈川工業高等学校	団体	赤堀 湊 今井 耀 大原 海輝 小平 悠生 佐々木 湮 新庄 柁斗 中川 和也	—	地元の障がい福祉サービス事業所と共同で商品開発を行い文化祭で販売し工賃向上に貢献した。
7	神奈川工業高等学校	団体	石井 心温 今泉 凌 岩野 哲 荻野 裕汰 貝坂 かける 鈴木 百晴 高山 權司 橋本 董 早川 遥人 堀内 蒼士 宮田 昊士朗 村瀬 春樹	—	県立茅ヶ崎支援学校との交流を通して把握した困りごとを電気と機械の力で解決へと導いた。
8	神奈川工業高等学校	団体	課題研究（おもちゃ修理・体験教室）班	—	阿久和地区センターの小学生向け体験教室に参加し、ものづくりの楽しさを伝えた。
9	神奈川工業高等学校	団体	クリエイション部・有志	—	神奈川県警主催の警察フェスタに出店するクイズゲーム・ビリビリ棒を制作し来場者を楽しませた。
10	神奈川工業高等学校	団体	有志ボランティア サポーターズ	—	ボランティア団体をサポートし高校生ボランティア・アワード2025で最高栄誉賞を受賞した。
11	横浜国際高等学校	団体	片山 日夏莉 デブナム 凜々子 アーネッタ 永江 椿	—	地域の特色と利用者のことを考えたコミュニティバスのデザインを作成した。
12	商工高等学校	団体	課題研究（ボランティアスピリット）	—	保土ヶ谷区社会福祉協議会・地域ケアプラザと連携し、社会福祉協議会の認知向上の活動を行った。
13	商工高等学校	団体	サイバー防犯ボランティア活動班	—	SNSの被害防止のために、地域の小学校・近隣の方々に出前授業・講習会を行った。
14	商工高等学校	団体	総合ビジネス科2学年流通系	—	地域の商店と連携して、たれ・ソースを開発し、地域の魅力発信に貢献した。
15	商工高等学校	団体	商工ボランティア同好会	—	地域・企業と連携し、ボランティア活動を行い環境問題・社会問題に取組み地域に貢献した。
16	商工高等学校	団体	「未来へのスイッチ！高校生と挑む3つのプロ体験」課題研究班	—	保土ヶ谷図書館と連携し、地域の小・中学生にボランティアでものづくり体験を実施した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
17	保土ヶ谷高等学校	団体	茶道部・フラワーアレンジメント部	—	地域の方に茶道とフラワーアレンジメントの体験をしてもらう「お茶とお花の会」を実施した。
18	旭高等学校	団体	学習サロンボランティア	—	地域の小中学生を対象に川井地域ケアプラザで宿題の手伝いなどを行った。
19	旭高等学校	団体	軽音楽部	—	川井地域ケアプラザに企画を持ち込み、バンド演奏を通じて地域の方々と交流した。
20	旭高等学校	団体	テニス部	—	三ツ境支援学校を訪問し、テニスを通じて生徒同士の交流を深めた。
21	旭高等学校	団体	ライフル射撃部	—	老人ホームでの夏祭りの手伝いを通して施設利用者と交流を深めた。
22	横浜氷取沢高等学校	団体	茶道部	—	校内や国際交流場面でお点前の体験会をし、国際的な場面や地域・校内における茶道普及を進めた。
23	港北高等学校	個人	中村 零	3	放送部員として地域行事の司会進行などで活躍し、地域活動に貢献した。
24	港北高等学校	団体	体育祭応援団団長	—	体育祭の太尾小学校生徒との合同種目において、地域との絆を育んだ。
25	港北高等学校	団体	調理部	—	太尾小ふるさとまつりに参加し、部員全員で作ったマドレーヌを販売し、地域活動に貢献した。
26	岸根高等学校	個人	宮副 碧衣	2	横浜市港北区地域の「小机城址まつり」のポスター原画を制作し、地域の自治会活動に貢献した。
27	岸根高等学校	団体	演劇部	—	横浜市港北区地域の「小机城址まつり」の運営協力を行い、地域の自治会活動に貢献した。
28	岸根高等学校	団体	C L U B + 1	—	部活動生徒等が余暇を利用し、多様なボランティア活動に参加し、地域の環境整備等に貢献した。
29	岸根高等学校	団体	サッカー部	—	永年にわたり、「マリノスサッカーで遊ぼう」の運営協力を行い、近隣の児童等の成長に寄与した。
30	岸根高等学校	団体	参議院議員選挙 岸根高校投票所運営スタッフ	—	港北区選挙管理委員会の依頼に自主的に応募し、運営スタッフとして投票所運営に尽力した。
31	岸根高等学校	団体	吹奏楽部	—	永年にわたり、地域イベント等で演奏活動を行い、地域振興に寄与した。
32	岸根高等学校	団体	地域連携委員会	—	永年にわたり、地域イベント「すこやか祭り」の運営協力を行い、近隣の児童等の成長に寄与した。
33	岸根高等学校	団体	横浜市長選挙 岸根高校投票所運営スタッフ	—	港北区選挙管理委員会の依頼に自主的に応募し、運営スタッフとして投票所運営に尽力した。
34	岸根高等学校	団体	陸上競技部	—	スペシャルオリンピックス大会や横浜マラソンのボランティアに参加し、スポーツ振興に寄与した。
35	白山高等学校	団体	ボランティア委員会	—	赤い羽根共同募金や文化祭でのエコトレーの導入等を積極的に行った。
36	荏田高等学校	団体	吹奏楽部	—	東関東吹奏楽コンクールに出場した。小中学校や地域の行事にも積極的に参加し、地域に貢献した。
37	新栄高等学校	団体	吹奏楽部	—	地域行事で吹奏楽の演奏を行い、イベントを盛り上げ、多世代交流の場や機会を創出した。
38	新栄高等学校	団体	生徒会	—	日頃の活動の成果を発揮すべく、各種地域イベントで運営を補助、企画し地域の方々と交流した。
39	新栄高等学校	団体	陳 旭輝 王 敖雪	—	地域行事で、母国語での絵本の読み聞かせを行った。学校説明会等でも語学力を発揮した。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
40	新栄高等学校	団体	美術部	—	地域行事で、小学生対象の工芸講座等を実施し、地域の方々と交流し、イベントを盛り上げた。
41	舞岡高等学校	団体	地域連携委員会	—	本校の竹林を活用し、地域と連携してイベントの企画・運営など様々な取組を行っている。
42	横浜桜陽高等学校	団体	合唱部	—	汲沢地区のレクリエーション大会のボランティアに参加し、地域に貢献した。
43	横浜桜陽高等学校	団体	弓道部	—	地域の神社のお祭りにボランティアとして参加し、地域に貢献した。
44	横浜桜陽高等学校	団体	軽音楽部	—	地域の神社のお祭りにボランティアとして参加し、地域に貢献した。
45	横浜桜陽高等学校	団体	生徒会本部	—	部活動全体（約170名）を統率し、近隣地域の清掃活動を行った。
46	横浜桜陽高等学校	団体	バドミントン部	—	汲沢地区のレクリエーション大会のボランティアに参加し、地域に貢献した。
47	横浜桜陽高等学校	団体	バレーボール部	—	汲沢地区のレクリエーション大会のボランティアに参加し、地域に貢献した。
48	横浜桜陽高等学校	団体	野球部	—	地域の神社のお祭りにボランティアとして参加し、地域に貢献した。
49	横浜瀬谷高等学校	団体	地域活性化プロジェクト 追加探究チーム	—	自主的に探究活動を継続し、地元公園と協働してマップ&イベントカレンダーを作成・広報した。
50	横浜瀬谷高等学校	団体	地産地消プロジェクト 追加探究チーム	—	自主的に探究活動を継続し、地元カフェと協働して地産地消のお弁当の開発・販売を行った。
51	横浜瀬谷高等学校	団体	未来共創ラボ	—	地域と協働して海軍道路に花を植栽するフラワーロードプロジェクトの企画・運営を行った。
52	新城高等学校	個人	久保島 綾音	2	こども家庭庁によるボランティア活動に参加し、災害時のこどもの居場所で活動した。
53	生田高等学校	団体	吹奏楽部	—	地域の介護施設等で演奏を行った。
54	生田高等学校	団体	放送部	—	地域の商店会主催の秋祭りの司会や長沢ニコニコハーモニーの運営に携わった。
55	横須賀高等学校	個人	小熊 未沙	3	地域での清掃活動や近隣の中学校でのボランティア活動、横須賀市主張の会へ参加した。
56	平塚農商高等学校	団体	都市環境科	—	地域の幼稚園生や小学生を招き、「自然探索」や「生き物観察会」を生徒主体で実施した。
57	平塚農商高等学校	団体	都市農業科	—	食育活動の一環として、本校水田を活用した田植え稲刈り体験を継続的に実施している。
58	平塚農商高等学校	団体	農業クラブ 花卉研究班	—	平塚総合公園内花壇等、平塚市より依頼された花壇の植栽と管理を継続的に実施している。
59	平塚農商高等学校	団体	農業クラブ 食品科学研究班	—	近隣の富士見公民館活動と連携し、幅広い年代に向けた食育活動に取り組んだ。
60	平塚農商高等学校	団体	農業クラブ 食品加工班	—	「地域の食材を用いた商品開発」をとおして神奈川県産品の振興を目指して取り組んだ。
61	鎌倉高等学校	個人	川村 咲也子	3	地元自治会の新たな秋祭り実施に際し依頼されたロゴ作成に美術部員として協力し、採用された。
62	鎌倉高等学校	団体	弦楽部	—	地元自治会の新たな秋祭りを始め、地元福祉施設等からの依頼に応じ、校外での弦楽演奏を行った。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
63	七里ガ浜高等学校	団体	生徒会 ボランティア部	—	七里ガ浜自治会夏祭り運営スタッフとして、ボランティア参加した。
64	藤沢西高等学校	団体	生徒会	—	湘南大庭地区の活性化を目指し本校生徒会と地域の小中学生が協働して、イベントを企画運営した。
65	西湘高等学校	団体	清掃部	—	校内外における定期的な清掃活動と共に、地域のボランティアイベントなどへ積極的に参加した。
66	小田原城北工業高等学校	団体	交通安全推進委員会	—	小田原警察署で再生される、運転免許証更新手続きに関わる動画を作成した。
67	小田原城北工業高等学校	団体	デザイン科コミュニケーション班	—	地域イベントでの司会、運営、市の依頼に応えてのチョークアート制作など地域に貢献した。
68	小田原城北工業高等学校	団体	デザイン科パッカー車ペイントチーム	—	地域企業から提供されたパッカー車に夏休み期間を活用しオリジナルの図柄をペイントした。
69	小田原城北工業高等学校	団体	金井 愛梨 中村 海斗 佐々木 綴琉	—	中学生等対象の説明会で、自らの経験を踏まえ定時制教育の重要性について効果的に説明した。
70	茅ヶ崎西浜高等学校	団体	吹奏楽部	—	大岡越前祭駅前コンサートや老人ホーム訪問演奏等、地域のお祭りや施設訪問での演奏で貢献した。
71	逗子葉山高等学校	団体	飯田 海響 藤原 倫三郎	—	葉山町中学生高校生議会で町の課題と解決策について議論し、よりよい街づくりに貢献した。
72	上溝高等学校	団体	児童文化部	—	保育園や児童クラブを訪問し、子どもたちにパネルシアターや人形劇を披露して交流を図っている。
73	上溝高等学校	団体	ボランティア同好会	—	社会福祉協議会等と連携して「こども食堂」「駄菓子屋さん」等の運営ボランティアを行っている。
74	上鶴間高等学校	団体	ICC部	—	日頃の外国語学習の成果を発揮し、近隣の小学校で児童の英語学習を支援した。
75	上鶴間高等学校	団体	生徒会本部役員	—	文化祭収益をこども食堂に寄付し、各種地域イベントで運営を補助し、地域の方々と交流した。
76	相模原弥栄高等学校	個人	木山 結菜	3	相模原市から依頼を受け、「プラネタリウムリニューアルオープン式典」ポスター等を制作した。
77	相模原弥栄高等学校	団体	大橋 由奈 木山 結菜	—	相模原市から依頼を受け、「結婚新生活・移住定住支援事業」ポスター等を制作した。
78	相模原弥栄高等学校	団体	櫻井 志帆 山形 夏凜	—	相模原市農業祭り実行委員会の依頼を受け、ポスターを制作した。
79	相模原弥栄高等学校	団体	生徒会本部	—	生徒会活動として近隣学校と連携、協力し交通安全・挨拶運動に取り組んだ。
80	相模原弥栄高等学校	団体	額見 涼香 細川 心美	—	「第47回中央地区ふるさとまつり」実行委員会の依頼を受け、ポスターの制作をした。
81	相模原弥栄高等学校	団体	「ハローめぐみ」プロジェクト	—	地元小学校での出前事業等を実施し、地域に関連した充実した探究活動を行った。
82	三浦初声高等学校	団体	科学部 環境クラブ	—	貝殻を使ったワークショップを地域の観光施設等で行い、地域の活性化に寄与した。
83	三浦初声高等学校	団体	果樹研究部	—	他校との交流を率先して行い、専門学科同士のつながりを深めた。
84	三浦初声高等学校	団体	食品研究部	—	部活動での研究成果を地域振興に生かした。
85	三浦初声高等学校	団体	太鼓部	—	地域の祭り等において、太鼓演奏を披露し地域全体の交流を図った。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
86	三浦初声高等学校	団体	畜産研究部	—	部活動での研究成果を地域の畜産業の発展に生かした。
87	三浦初声高等学校	団体	野菜研究部	—	部活動での研究成果を地域振興に生かした。
88	秦野高等学校	団体	生徒会本部	—	大根中学校区学校整備懇話会こども部会に参加し、高校生として意見交換し、地域に貢献した。
89	秦野曽屋高等学校	団体	ダンス部	—	秦野丹沢まつり、秦野たばこ祭、自治会の敬老会、小中学校のイベントなどでダンスを披露した。
90	厚木王子高等学校	団体	3年選択授業保育基礎	—	緑ヶ丘幼稚園と連携し、幼稚園訪問、どんぐり拾い企画、餅つき大会手伝いなどの交流を行った。
91	厚木王子高等学校	団体	吹奏楽部	—	台湾の永平高校吹奏楽部との国際交流や地域のイベントなど様々な場での演奏活動を行った。
92	厚木王子高等学校	団体	人形浄瑠璃部「ひがし座」	—	人形浄瑠璃の伝承及び活動や公演を通じて地域との交流活動を行った。
93	厚木王子高等学校	団体	ヘルメットインフルエンサー	—	自転車用ヘルメットを着用し「ヘルメットインフルエンサー」として着用の必要性を発信した。
94	厚木王子高等学校	団体	野球部	—	緑ヶ丘小学校の児童によるどんぐり拾いのイベントに対する下準備をするなど地域に貢献した。
95	伊勢原高等学校	団体	軽音楽部	—	伊勢原青年会議所主催の演奏会に参加し、道灌祭りにも出演して地域活性化に貢献した。
96	伊勢原高等学校	団体	女子バレーボール部	—	第58回伊勢原観光道灌まつり行事パレードに子役として参加した。
97	伊勢原高等学校	団体	ボードゲーム部	—	放課後デイサービスと連携して部員と児童が交流した。また校内で、全定交流イベントを開催した。
98	中央農業高等学校	団体	食品加工専門研究部	—	地域の子どもたちを対象としたお菓子作り教室などの食育活動に取り組んだ。
99	中央農業高等学校	団体	酪農専門研究部	—	地域の子どもたちを対象とした牛との触れ合いイベントに取り組んだ。
100	中央農業高等学校	団体	和太鼓部	—	地域のお祭りやイベントなどで和太鼓の演奏を披露し、伝統芸能の継承に努めた。
101	綾瀬西高等学校	団体	ボランティア部	—	高齢者施設を定期的に訪問し、スマホ使い方教室の開催や、夏祭り等で地域貢献活動に取り組んだ。
102	寒川高等学校	団体	演劇部	—	地域の公民館主催「子どもフェスティバル」に参加し、朗読劇を行いイベントを盛り上げた。
103	寒川高等学校	団体	科学部	—	地域の公民館主催「子ども実験教室」の講師として、子ども達の科学への興味関心を高めた。
104	寒川高等学校	団体	合唱部	—	地域の公民館主催「子どもフェスティバル」に参加し、合唱を披露しイベントを盛り上げた。
105	寒川高等学校	団体	野球部	—	町主催「さむかわスポーツデイ」に協力し、子ども達のボール遊びに対する興味を高めた。
106	大井高等学校	団体	吹奏楽部	—	地域の祭りや福祉施設のイベントにおける演奏を通し、地域の方々と交流した。
107	相模原城山高等学校	団体	おひさま部・ひまわりクラブ	—	手作りのパネルシアターや人形劇、手遊び、ダンスなどの公演により地域の多様な世代と交流した。
108	平塚中等教育学校	個人	岩佐 葵	5	防災行事でブース出展、防災白書作成、災害ボランティアなど、地域課題の解決に取り組んだ。

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
109	鶴見支援学校	団体	高等部環境整備班	—	地域ケアプラザの清掃等や同施設での作品の展示により、地域交流に主体的に取り組んだ。
110	藤沢支援学校	団体	対人サービス班（職業班）	—	地域の老人ホームに定期的に出向き、窓清掃を行った。
111	小田原支援学校	団体	令和7年度知的障害教育部門高等部3年生	—	聴覚障がいのある女性の前向きな生き方をテーマとした絵本を作成し県西地域全小学校に贈った。
112	相模原支援学校	団体	50周年記念実行委員会	—	地域の鉄道会社と連携し、駅周辺の花植えや美化活動、学校周辺の道路、公園の美化活動を行った。
113	横浜ひなたやま支援学校	団体	グリーンサービスユニット	—	職業「作業」で近隣住民に「庭掃除」のチラシを配布し、依頼された家の庭掃除を行った。

表彰基準(3)適切な判断のもと、人命救助など勇敢な行動をしたもの

(敬称略)

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
1	神奈川工業高等学校	団体	水球部	—	体調に異変を起こした部員に気付き、責任ある行動により一命を取り留めることができた。
2	二俣川高等学校	個人	井場　みのり	3	コンビニエンスストアのアルバイト時に高齢男性に声をかけ特殊詐欺の被害防止をした。
3	釜利谷高等学校	個人	小野　優結華	2	足の痛みで動けなくなっていた女性を介抱し、自宅に知らせるとともに、救急車の要請をした。
4	釜利谷高等学校	個人	近山　愛	2	
5	釜利谷高等学校	個人	鶴濱　めい	2	
6	横浜桜陽高等学校	個人	松枝　來門	3	倒れている高齢者を発見し、担いで施設まで連れて行き人命救助を行った。
7	多摩高等学校	個人	井上　心真莉	2	路上で倒れている方を周囲の人と協力して介抱し、人命救助を行った。
8	多摩高等学校	個人	工藤　きずな	2	
9	多摩高等学校	個人	桑原　舞	2	
10	多摩高等学校	個人	山形　咲穂	2	
11	多摩高等学校	個人	青木　梨乃	1	
12	多摩高等学校	個人	伊藤　朱里	1	
13	多摩高等学校	個人	田中　彩音	1	
14	多摩高等学校	個人	中村　萌花	1	
15	菅高等学校	個人	寺田　萌唯颯	3	路上で自分の家を忘れて困っていた方がいたため、警察に連絡をして、家庭に引き渡した。
16	茅ヶ崎高等学校	個人	小川　結生	2	バスのドアに腕を挟まれた状態で引きずられている方を発見し、人命救助を行った。
17	茅ヶ崎高等学校	個人	松田　湮	1	路上で動けなくなっている方を発見して介抱し、人命救助を行った。
18	茅ヶ崎高等学校	個人	宮原　神裕登	1	
19	逗子葉山高等学校	個人	小松　瑠奈	3	道で動けなくなっていた高齢者に声をかけ、家まで連れて行った。
20	逗子葉山高等学校	個人	鈴木　龍之介	3	
21	相模原高等学校	個人	小川　瑛真	2	登校中に体調不良者を見つけ、救急車を呼び、救急車が到着する間、体調不良の方を介抱した。
22	相模原高等学校	個人	結城　彩斗	2	

No.	学校名	個人 団体の別	氏名又は団体名	学年	行為・実績等のあらまし
23	相模原弥栄高等学校	個人	牧野 翔	1	校内で体調不良により倒れている生徒を発見し、迅速な対応を行い大事に至らずに済んだ。
24	相模原弥栄高等学校	個人	森 陽登	1	
25	綾瀬西高等学校	個人	里見 海漣	1	下校時に迷子になっていた小学1年の児童2名に声をかけて事情を聴き、小学校まで送り届けた。
26	愛川高等学校	個人	伊藤 孝太	2	道に迷った高齢女性を案内して自宅まで付き添った。
27	愛川高等学校	個人	古郡 弘雅	2	

令和7年度神奈川県教育委員会表彰（神奈川県立学校の児童・生徒表彰）の概要

1 趣旨

神奈川県立学校の児童・生徒の意欲を向上し、もって神奈川県における学校教育のより一層の充実に資する。

2 開始年度

平成18年度

3 対象者

県立学校の児童・生徒個人及び児童・生徒で構成する生徒会や部活動等の団体

4 表彰候補者の基準

- (1) 新たな取り組みや困難な課題等に果敢にチャレンジしたもの
- (2) 地域・社会等に貢献をしたもの
- (3) 適切な判断のもと、人命救助など勇敢な行動をしたもの
- (4) その他表彰するに値すると認められるもの

5 被表彰件数

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
個人	30	71	79	156	193
団体	40	38	46	118	186
合計	70	109	125	274	379

6 審査手続

- 8月 県立学校長に推薦依頼
- 10月 各学校から教育局に推薦書の提出
- 12月 高校教育課、保健体育課、特別支援教育課において予備審査を実施
審査会の実施
- 1月 被表彰者を決定（審査会の意見具申をもとに教育長が事務を臨時に代理して決定）

7 今後の予定

2月2日（月）以降 各校にて表彰状を授与